

# Feng-Shui Gallery

special edition vol.6

～風水デザインが空間にもたらす影響を、住空間のスペースごとに考える～

## 『キッチン』



薄いオレンジとベージュの壁、白いシンクと天板の色がバランス良く配分されたキッチン。明るく薄い色が多い分、床は少し濃い目のフローリングを選び、安定感の感じられる空間にまとめています。

【写真1】濃いめの木目で仕上げられた対面キッチンと、暖色系でまとめられた空間は、温もりと明るさを感じられます。【写真2】対面キッチンにすることで、ダイニングにいる家族の顔を見ながら料理をすることができ、コミュニケーションをとりながら楽しく食事をすることが可能です。【写真3,4】キッチンのスペースを大きく取れる場合によくみられるアイランドキッチンは、調理中の動線の確保が容易です。子供と一緒に料理をしたり、料理教室をする方などはストレスなく、楽しく料理をすることができるでしょう。【写真5】ステンレス天板のキッチンも、周囲を暖色系で仕上げることで冷たい印象にはならず、すっきりとした見栄えになります。【写真6】細かいモザイクタイルの壁面に囲まれたキッチン。空間のトーンを合わせることでタイルが良いアクセントになり、同時に清潔感を演出してくれています。



### 火と水を使うキッチンは、特にその環境を整えておくことが大切です。

キッチンにはトイレと同様に、水を扱う場所ですので、風水では重要な場所といえます。  
また火を扱うことも考慮する必要があります。なぜなら気は炎で燃えてなくなってしまうからです。悪い気を燃やしてくれるとも考えられるので、住まう人に合った配置をしなければなりません。  
風水でキッチンは血管に対応していると考えられており、清潔に保つことで血管の流れが悪くなることを防ぎ、冷え性の防止になると考えられています。特にキッチンにいたことが多い女性は、男性に比べて冷え性になりやすいので気をつけてください。  
仕上材の色は、トイレ/水廻りと同じく暖色系やナチュラルな木質系が良いでしょう。清潔で明るいキッチンは良い生命場となり、その空間で調理された料理を食べることで、身体的にも良い影響があるでしょう。また、掃除の面から床はフローリングやタイルで仕上げるのが多いので、冷えるようでしたらキッチンマットを敷くなどして、暖かい環境で料理ができるように心掛けてください。  
キッチンは家の中で特に汚れやすく、生活感のする場所です。調理後の片づけや、食べ終わった食器を洗うことがこまめにできるように、使い勝手と収納の量が自分に合っているか検討して、いつでも整った環境にしておくことが大切です。